

鶴見・あいねっと



第2期
スタート!

～助けあい・支えあい。
人と人のネットワーク～

健康で住みやすい福祉のまちに!

第6回「鶴見・あいねっと」推進フォーラム開催

【内容】第1部 社会福祉功労者感謝会
第2部 第2期「鶴見・あいねっと」発表
【日時】3月17日(水) 13:30～16:00
【会場】鶴見公会堂
申込不要。直接会場へお越しください。

障害児余暇団体「さざんかキッズ」メンバー募集

鶴見区内個別級の小学生が中心になって、月1回親子で
色々な活動をしています。見学可能で随時申し込み可能です。

【日時】第3土曜日
【会場】矢向地域ケアプラザ、ゆうづるなど
【内容】公園で遊んだり、工作をしたり、カラオケをしたり、短期で水泳・
体操・音楽などの特別なプログラムの活動も実施しています。

●連絡先:高野和美 TEL:090-1662-8805
E-mail:kazumi-t.90210@docomo.ne.jp

●鶴見区地域福祉保健計画●

平成17年～21年度に続き、平成22年4月より第2期(平成22年～27年度)がスタートします。

第2期計画では、「健康で住みやすい福祉のまちに」を基本理念に、これまでの取り組み・プロセスを大切に、よりよい地域づくりに向けた地区別計画や、関係機関の取り組み、身近にできる地域活動などを掲載しています。

自分のために、友だちのために、地域のために、身近にできることから一緒に始めませんか。

※第2期計画は3月17日より区役所、区社協等にて配布予定ですのでご覧ください。区社協ホームページからもダウンロードできます。

身近に、みんなで、あいねっと

◆お年玉を善意銀行に寄付



こみやまじおん
馬場在住の小宮山慈音くん(小2)は、お正月にもらったお年玉を善意銀行に寄付してくれました。寄付をしてくれた理由を聞くと、恥ずかしそうにお母さんの顔を見つめる慈音くん。「多くもらったので、寄付をしたいと自分で希望したんです」とお母さん。慈音くんの優しい気持ち、とっても嬉しいです。

高齢の方、障害のある方をはじめ、 日常生活にお困りの方を支援します!

お気軽にご相談ください。

あしほはボランティアからスタートしたNPO法人です。
助け合いの気持ちを大切に鶴見という地域に根ざした活動を続けています。

介護保険
指定

障害者
自立支援法
指定

横浜市
ホームヘルプ
事業委託

あしほ助けあい
サービス

特定非営利活動法人(NPO)
ヘルパー派遣&
ケアプラン作成

ヘルパーステーション
あしほ

鶴見区鶴見中央4-15-2-2F(京急鶴見駅1分)
☎045-506-1166



福祉

つるみ 63

点字・録音版も!

【第63号】2010年3月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集◎企業の社会貢献 きょうも鶴見でいい出会い



表紙
クイズ

ここは鶴見のどこの空?

応募方法は3ページを
ご覧ください

大黒町方面の一帯は「○○工業地帯」と呼びます。○○に文字を入れて応募してください。

NICE ナイス 株式会社

◆ナイス株式会社の清掃ボランティア活動は、本社ビル（鶴見中央）前の地下道清掃から始まりました。午前8時過ぎ。社員は清掃用具を手に街角に向かいます。夏は日差しに、冬は北風に悩まされながらも一年を通じて始業前の30分をまちの美化にあてる活動はすっかり定着しました。



▲左からナイス経営推進本部総務グループの小泉さんと大須賀さん(本社応接室)。

始業前の30分 まちを きれいに

とプランターボックスがゴミ箱代わりになってしまうので淋しい」と言います。



▲鶴見区社協近くの道で(1月27日撮影)

たばこの吸い殻が減り、コンビニの袋やおにぎり、菓子の包装紙が目立つようになった、とまちのゴミ事情を明かします。「まちの人がちりとりと箒を寄付してくださったのがうれしいです」と言うのはボランティアを始めて間もない小泉さん。

◆集めたゴミは分別して袋詰め。平均すると一週間で10袋(45リットル入)になります。「清掃用具の購入費をはじめ、最近までゴミの処分代も会社が負担していましたが資源循環局鶴見事務所に相談し、直接ゴミ焼却場に持ち込めるようになりました」(大須賀さん)。

◆地元で創業し、事業を続けてきたナイス。清掃ボランティアは「地道に続けることを社員の財産にしたい」と二人は話します。



横浜東部地区 連合・横浜労福 東部支部

◆取材に応じて集まったみなさんは、鶴見区協内の工場などで働く人たち。それぞれ所属する労働組合を通じて地域ボランティアに熱心に取り組んでいます。ボランティア経験はさまざまですが「人と出会い、ふれあう楽しさ、教えられることの多さ」をあげ、刺激を受けるボランティアをやって良かったと言います。

◆「盲学校で点字カレンダー作りを手伝ったのが最初でした。生徒一人ひとりの感性の豊かさに驚きました」(渡久地さん)。「障害のあるお子さんたちと郊外の動物園に行きました。障害に対する知識がなく接し方に戸惑いました」(山崎さん)。「その場にいる人全員が何らかの形で車いすの人をアシストして…旅行先のカナダで見た光景が帰国後のボランティア活動の原点になっています」(西園さん)。「一日過ごしてもその人の障害を理解はできな

交流の楽しさ ゆとりの 大切さを 知る



▲左奥から木下さん、西園さん、右奥が山崎さん、手前が渡久地さん(鶴見区社協)

いけれど、その積み重ねは自分の生き方を変えてくれると思っています」(木下さん)。

◆こう話したのち、みなさんが口をそろえたのは「ボランティアを継続するためには自分自身の余裕やゆとりも大切」ということ。若い組合員をボランティアに誘ったり、異動後の引き継ぎにも気をを使うみなさん。どこかできっと、楽しそうに活動する姿を見かけることでしょう。

▼競技の手伝い、応援、鶴見区キャラクター「ワックン」役など、東部地区連合・労福協東部支部のみなさんは区民にとっておなじみさんであり、欠かせない存在(昨年11月のふれあい運動会)



特集 企業の社会貢献

さようも鶴見でいい出会い

麒麟ビール 株式会社

◆ビールなどの製造工程で働く入社1年程度の操業要員・技術員、次期リーダー候補の社員を対象に7年前から始

まった麒麟ビール株式会社生産本部テクノアカデミーのボランティア体験研修。全国の生産拠点から参加した対象者は400名を超えます。昨年は6月と8月に鶴見区内のべ18か所、神奈川区内のべ19か所の高齢者施設、地域作業所、授産所や地域ケアプラザなどで67名が介助、話し相手、作業やレクリエーションを手伝いました。

◆テクノアカデミーは技術系社員の研修の場ですが「個々の人間性を磨く“人としてのスキルアップ”も大きなテーマです」(川田さん)。

◆障害者地域作業所で作業応援などを手伝った伊藤さんは「餃子を手作りするコツのようなものを話したら一生

福祉施設で ボランティア

懸命になって…できた時の表情が最高でした」。

◆「言葉を交わしたお年寄りなどから“一人ひとり感じることは違って当然、自分の当たり前は人にとっても当たり

前ではないこと”を教えられました」と、特別養護老人ホームでデイサービス補助を体験した井上さん。こうした経験をもとに、地域の運動会でボランティアを続ける社員も増えています。

※各施設1〜2名、1・2日間での実施



「体験研修の1回目から見守っています。毎年参加する人たちの気づきの新鮮さ、熱心さがいつも心に残ります。」

◆東寺尾地域ケアプラザ◆
地域交流コーディネーター・土屋環さん

▲麒麟ビール生産本部テクノアカデミーの左奥から川田さんと渡辺さん。研修に参加した手前左から伊藤さん、井上さん(麒麟ビール横浜工場)

善意銀行寄付者

善意の寄付をありがとうございました
平成21年9月1日〜12月31日 ()内は期間内の寄付回数

金銭寄付者(敬称略・順不同)

(株)ニュー・トーヨー(2)・(社)神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部・(社)鶴見法人会女性部会・おっさんネットワーク・つまみコンサート実行委員会・つまみ街角笑タイム・ハーモニー音楽教室生徒一同・愛する会一同・レッツダンス ロイ・旭硝子労働組合・旭硝子労働組合京浜支部・安部ヒロエ・横浜生麦地区センター・横浜市潮田地区センターチャリティーダンスパーティー実行委員会・横浜鶴見北ロータリークラブ・河西英彦・岩澤夢鶴子(4)・真田米吉・股野藍子・高田幸雄・佐々木悦子(2)・佐々木淳・三ツ池フェスティバル+臨海チーム・三須洋子(5)・山木貞夫・市場地区自治連合会、市場地区社会福祉協議会・小野輝子・小野梅子・照本純子・上末吉婦人会・神奈川県電気工事工業組合鶴見地区本部・神奈川県厚生年金受給者協会鶴見分会・生麦地区センター祭協賛生麦プロジェクト・大本山・總持寺・三松会・谷藤政春・地域ふれあいまつり実行委員会・中村国政・中島明高・鶴見区ボランティア連絡会・鶴見区更生保護女性会・鶴見区仏教婦人会・東芝京浜事業所東芝労働組合京浜支部・東台小学校三世代ふれあい光の子フェスティバル実行委員会・内田八江子・日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区鶴見連絡会・平井洵子(4)・片田由美子・新鶴見文化祭実行委員会・匿名(9)

物品寄付者(敬称略) 吉兆グループ(3)

寄付の方法 ①区社協窓口への持参(月〜土 9時〜17時) ②銀行振込
★物品寄付についてもご相談ください。

振込先: 横浜信用金庫 鶴見駅東口出張所 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 阿部 進(アベススム)

鶴見区社協より

<http://www.yturumi-shakyo.jp/>

「鶴見の空クイズ」&愛読者アンケート

特製エコバックと図書カードを10名様にプレゼント!

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください!正解者に抽選で、特製エコバックと図書カードをプレゼントします。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢③福祉つまみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、4月30日(必着)までに



〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
(☎504-5619 ☎504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp)

鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は発送をもって換えさせていただきます。前号の正解は「③鷹野大橋」、応募者数79人でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。

●「福祉つまみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。
●「福祉つまみ」では広告を募集しております。
●一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。
●次号(第64号)は、平成22年6月1日発行です。